

2025 年度 研究倫理委員会 自己点検・評価

研究倫理委員会は、本学において研究を実施する場合、倫理的、法的および社会的観点から適正に遂行できるようにすることを目的とし、これに則した取り組みを行っている。本委員会は、各学部あるいは各学科、ならびに各研究科の代表教育職員 5 名、事務担当職員 3 名、学外委員 1 名の 9 名で構成している。また、本委員会内には、動物実験部会、遺伝子組換え実験安全管理部、研究用微生物及び人体試料等安全管理（バイオセーフティ）部会の 3 部会を置いている。

2025 年度当初計画 〈P〉

研究倫理委員会は、松本大学研究倫理委員会規程第 3 条に則り、下記の事項を審議する。

- (1) 研究の倫理及び不正行為に係わる基本的事項に関すること。
- (2) 研究者から申請のあった研究の実施計画の審査に関すること。
- (3) 研究に係わる個人情報の保護に関すること。
- (4) その他研究の倫理に関すること。

2025 年度活動概要 〈D〉

1) 申請のあった研究について倫理審査を行った。

第 1 回 4 月 11 日(金) (メール審議)

下記の 1 件の申請について審議し、修正後に承認した。

- ・「商品開発企画を通じた学生の意識の変容」

大学院健康科学研究科 石原三妃

第 2 回 4 月 25 日(金) (メール審議)

下記の 1 件の申請について審議し、修正後に承認した。

- ・「運動部に所属する高校生の腸内環境コンディショニングがパフォーマンスに及ぼす影響の検討」

人間健康学部健康栄養学科 長谷川尋之

第 3 回 5 月 14 日(水) (メール審議)

下記の 1 件の申請について審議し、修正後に承認した。

- ・「通常学級に在籍する算数障害児の早期支援にむけた評価システム作成の取り組み」

教育学部学校教育学科 山本ゆう

第 4 回 5 月 28 日(水) (メール審議)

下記の 4 件の申請について審議し、修正後に承認した。

- ・「協同学習における動機づけ調整に関する検討」

教育学部学校教育学科 海沼亮

- ・「体育は知的か：「考える体育」の授業の実践と集団式潜在連想テストによる検証」

教育学部学校教育学科 濱田敦志

- ・「長距離アスリートランナーおよび健康市民ランナーにおける一過性の

ハーフマラソンレース走が動脈機能に及ぼす影響」

人間健康学部スポーツ健康学科 山本薫

- ・「IoT を併用したリモート運動・食事介入システムの構築」

大学院健康科学研究科 住吉愛里

第 5 回 7 月 8 日(火) (メール審議)

下記の 1 件の申請について審議し、修正後に承認した。

- ・「菌叢シミュレーターの結果のフィードバックの違いが行動変容に与える影響についての検討」

人間健康学部健康栄養学科 山中祥子

第 6 回 7 月 28 日(月) (メール審議)

下記の 1 件の申請について審議し、修正後に承認した。

- ・「たんぱく質補助食品の摂取と運動が中高年女性の筋力向上に及ぼす影響の検討」

人間健康学部健康栄養学科 長谷川尋之

第 7 回 9 月 1 日(月) (メール審議)

下記の 1 件の申請について、申請者との検討の結果、申請を取り下げることとなった。

- ・「長野県における健康寿命延伸のための取り組みと意識調査」

人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子

第 8 回 9 月 8 日(月) (メール審議)

下記の 1 件の申請について審議し、修正後に承認した。

- ・「小学生の身体活動量の実態調査」

人間健康学部スポーツ健康学科 岩間英明

第 9 回 10 月 9 日(木) (メール審議)

下記の 1 件の申請について審議し、修正後に承認した。

・「労働と余暇の変容が関係人口につながるプロセスに関する実証的研究」 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 城本高輝 第10回 10月21日(月)(メール審議) 下記の1件の申請について審議し、承認した。 ・「臨地実習ガイダンス動画教材の効果検証に関する研究」 人間健康学部健康栄養学科 石澤美代子 第11回 11月3日(月)(メール審議) 下記の1件の申請について審議し、修正後に承認した。 ・「若年層男性のヘルスリテラシーに与えるセルフトラッキングの影響 —20～30代の男性を対象としたインタビュー調査から—」 大学院健康科学研究科 福島智子 第12回 11月5日(水)(メール審議) 下記の1件の申請について審議し、修正後に承認した。 ・「嚙むを知ることが児童・生徒の食行動に及ぼす影響について」 人間健康学部健康栄養学科 碓野佐也香 第13回 12月12日(金)(メール審議) 下記の1件の申請について審議し、修正後に承認した。 ・「セレン低下の発生率と規定因子の探索」 人間健康学部健康科学研究科 黒川優 第14回 2月27日(金)(メール審議) 下記の1件の申請について審議し、修正後に承認した。 ・「血清を用いたセレノプロテインPおよびビタミンB群の 同時定量による術後せん妄関連バイオマーカー探索」 人間健康学部健康科学研究科 黒川優 第15回 3月9日(月)(メール審議) 下記の1件の申請について審議し、修正後に承認した。 ・「地域住民におけるフレイルおよびサルコペニアの実態に関する基礎的検討」 大学院健康科学研究科 住吉愛里 2) 研究計画変更・追加申請のあった4件の研究について倫理審査を行い、承認した。 3) 申請者の希望に応じて倫理審査に関する相談を行った。	
点検・評価 (C)	
1) 倫理審査について ①本年度の倫理審査件数は、全22件であったが、その内1件が取り下げ、4件が研究計画変更・追加申請となっている。 ②倫理審査は、適正に実施することができた。また、昨年度は、添付書類の不備や記載漏れなどから審査期間が長くなる傾向にあったが、本年度は、このような問題が少なくなり、短期間での審査がなされた。 2) 申請希望者からの求めに応じ、事前相談を随時行うことにより、適正な審査につなげることができた。	
次年度に向けた課題・方策 (A)	
1) 倫理審査について 昨年度の反省点を生かし、倫理審査の時間短縮ならびに適正な実施を行うことができた。特に事前相談の運用効果が大きかったと思われる。2026年度もこれらを維持するとともに、さらに円滑かつ短期間で完了する審査を実施していく。	

執筆担当／委員長 増尾 均